

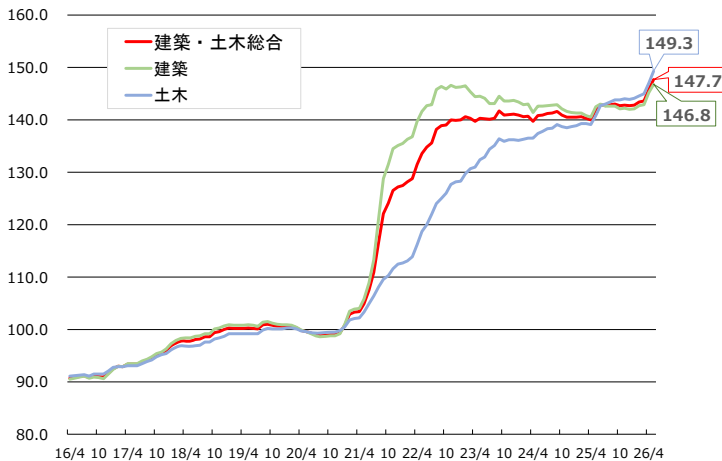
積算資料 建設資材価格指数

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2026年5月調査）

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	147.7	+1.9	+5.8
建築	146.8	+1.6	+4.3
土木	149.3	+2.3	+8.5

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none">●コンクリート二次製品：+1.4名古屋、+0.1新潟●骨材：+47.6大阪●瀝青材：+23.6東京、+21.4大阪、+20.5名古屋、+20.4那覇、+20.3広島、+20.1福岡、+18.4新潟、+18.3高松、+17.1仙台、+16.7札幌●再生アス混合物：+29.5広島、+27.5大阪、+21.8名古屋、+21.0福岡、+19.8高松、+18.6新潟、+18.5札幌、+17.7那覇、+16.9仙台、+12.2東京●普通鋼鋼材：+4.1福岡、+3.7広島・那覇、+2.9仙台、+2.6大阪、+1.7東京、+1.5名古屋、+1.2新潟、+1.1高松	
建築	<ul style="list-style-type: none">●コンクリート二次製品：+1.7名古屋、+0.2新潟●骨材：+48.2大阪●瀝青材：+33.1沖縄、+32.9広島・高松、+32.6札幌・仙台・新潟、+32.4福岡、+32.1東京・名古屋・大阪●再生アス混合物：+29.5広島、+27.5大阪、+21.8名古屋、+21.0福岡、+19.8高松、+18.6新潟、+18.5札幌、+17.7那覇、+16.9仙台、+12.2東京●普通鋼鋼材：+4.9那覇、+4.6福岡、+4.3広島、+3.5大阪、+2.8仙台、+2.0東京・新潟、+1.7名古屋・高松●その他鋼材：+4.1那覇、+0.4東京・名古屋、+0.3仙台・広島●木材：+1.6那覇、+0.5東京、+0.4札幌・名古屋・広島、+0.3仙台・新潟・大阪・高松、+0.2福岡	
土木	<ul style="list-style-type: none">●コンクリート二次製品：+0.9名古屋●骨材：+46.5大阪●再生アス混合物：+29.5広島、+27.5大阪、+21.8名古屋、+21.0福岡、+19.8高松、+18.6新潟、+18.5札幌、+17.7那覇、+16.9仙台、+12.2東京●普通鋼鋼材：+3.2福岡、+2.9仙台、+2.7広島、+1.9那覇、+1.2名古屋、+0.9大阪、+0.8東京、+0.3高松、+0.1新潟●特殊鋼鋼材：+4.4仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・高松・福岡、+4.3札幌、+4.1那覇	

指数集計対象資材の市況

5月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比プラス1.9ポイントの147.7となり4カ月連続で過去最高値を更新した。また、建築指数は同プラス1.6、土木指数は同プラス2.3で推移し、いずれも最高値を更新した。特に建築指数はウッドショックと呼ばれた2021～2022年以来の高水準となった。原油価格の上昇を背景としたストレートアスファルトの高騰が瀝青材や再生アスファルト混合物に波及し、全国的に市況が上昇したことが指数を押し上げた。中東情勢の悪化に伴い、原油価格の先行き不透明感は強い。石油系資材を中心に当面強含みで推移するとみられ、指数も高水準での推移が続く。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 TEL.03-5777-8212